

# 第24回 EMC環境フォーラム

セッション 6 開催日時 / 2018年10月25日(木) 9:30 ~ 16:00 開催地:サンシャインシティ文化会館 7階

## 市場へ製品を出荷するためには、 どのような対応が必要か、 CEマーキングを前提として見ると。

~新たな枠組みのNLFの適用が始まり、新EU指令が発行され、  
それらの新EU指令の適用が全て始まっているので注意する!!~

[チェアパーソン] グローバル・テクノマネジメント研究所 平戸 昌利 氏

**概要**  
CE マーキングが始まって四半期になるが、現在までの不備などの修正のために新たな法的枠組み (NLF) がスタートし、EMC 指令、低電圧指令や無縁指令が変わり適用が始まっているが、まだこれらの一つでも対応していれば出荷できている会社や担当者が多いが、現在は出荷できない、その背景などを説明する。

### □ 講演概要 □

#### 第1講演 CEマーキング・システムの市場監視強化及び新EU指令の運用と要求内容

グローバル・テクノマネジメント研究所 平戸 昌利 氏

CE マーキング・システムが始まって 24 年近くなり、現在は市場監視強化として問題となった製品の市場回収が多くなっている。新たな法的枠組み (NLF) の適用が要求され、指令・規則・決定が出され、指令だけでは出荷できなくなっており、「今までと同じでよい!」という対応不法では出荷できない事態となっている。

EMC 指令、低電圧指令などだけでは出荷できないことは分かっているが、EU 域内へ出すための他に何をすればいいかが分からない。

すでに取り組まれている企業の担当者、これから取り組む予定の企業、などの方へ必要な情報として、CE マーキング・システムの追加・変更点について話します。

#### 【講演目次】

1. CEマーキングシステムの背景
2. 新たな法的枠組み (NLF) の目的
3. システムの構成・内容とその要求事項 (指令)
4. 最小限必要な製品への要求指令の関係
5. 適合のための自己宣言 (DoC) と技術文書 (TD)
6. 製品の安全性を示すためのリスクアセスメントとは
7. CEマーキングシステムに関する情報の入手方法と活用
8. 社内での取り組み方法について

受講者の方へ EMC だけでは市場に出荷できないことを理解してもらい、CE マーキングシステムの構成の理解もしてもらう。

## □ 講演概要 □

### 第2講演 新指令による運用内容と適用時期と構成上の注意点

グローバル・テクノマネジメント研究所 平戸 昌利 氏

特に製品出荷に大いに関係する新 EU 指令の内容説明として、EMC 指令、低電圧指令、RE 指令（R&TTE 指令はもうない）、RoHS2 指令の新たな追加項目などについて要求事項の内容説明をすることによって、皆さんが疑問に追っていることを解消する。

#### 【講演目次】

1. 移行期間が無くなっていることへの注意点
2. 今までの指令の中で要求されている部分の違い
3. 適合性評価について
4. 他の指令との関係

受講者の方へ 出荷の条件として、多くの指令の組み合わせがある。  
製品上どのような指令との構成が要求されているかを理解してもらおう。

### 第3講演 NLFにともなう新EU指令で要求されるリスクアセスメントや技術文書（TD）への対応

グローバル・テクノマネジメント研究所 平戸 昌利 氏

新しいシステム NLF の要求の中にリスクアセスメントの検証の表を作成して技術文書の中に必ず入れなければならないのだが、どのように行えばいいのかわからないという問い合わせが多く、そのために展開に支障をきたしているのが現状。

要求規格に対応した内容を反映させたものとして、事例をあげて説明する。

#### 【講演目次】

1. 各指令で要求されるリスクアセスメントのポイントと最終的に1つの文書としてまとめるポイント
2. NLFの3文書に整合したリスクアセスメントの作成
3. リスクアセスメントリストを技術文書（TD）に反映させるポイントと適合宣言書（DoC）との関係
4. 適合確認のための各指令の構成と組み合わせ など

受講者の方へ ものづくりに関係する産業機械に関しても、安全性を要求されており、同じく EMC だけでは出荷できない。  
どのようなものがあるかを理解してもらい、仕事に生かしてもらうことの説明。

## 技術セッション / 受講料(テキスト代、昼食代を含みます) □各技術セッション定員50名(総合セッションへ無料で参加)

\*特別優待受講料の方は、①月刊EMCの読者、②早期申込みの方(2018年9月7日まで)、③講師からのご紹介者、④前回フォーラムを受講された方となります。

**特典** 技術セッション受講者は無料で総合セッションを受講することができますので申込書の□に✓をご記入下さい。

特別受講料	40,000円/1日間	75,000円/2日間	97,000円/3日間	総合セッション/3,000円(受講者は無料です)
一般受講料	54,000円/1日間	98,000円/2日間	145,000円/3日間	技術交流会/5,000円(定員100名様)

## テキスト販売 / 各セッション10,000円(税込)

※本フォーラムにて使用されましたテキストを技術セッションごとに1冊単位で販売いたします。10,000円(税別) / 冊(送料を含む)

## お申込み要領

※**注意** 技術セッションはサンシャイン文化会館 7F、総合セッションと技術交流会は 5Fにて 10月25日(木) のみの開催となります。  
※新しい人脈を築く技術交流会は定員100名様となりますので、申込順とさせていただきます。

**FAX申込書送付先** 029-877-1030 または <http://www.it-book.co.jp/EMC/forum/index.html>

### ■お問い合わせ

〒300-2622 茨城県つくば市要443-14 ソリューションフォーラム事務局 TEL.029-877-0022 E-mail:kagaku-gijyutsu@it-book.co.jp

きりとり線

## FAX申込書 [029-877-1030]

お申込日：2018年  月  日

お申込みセッション		◎総合セッションを <input type="checkbox"/> 受講する <input type="checkbox"/> 受講しない	
<b>6</b> 市場へ製品を出荷するためには、どのような対応が必要か、CEマーキングを前提として見ると。			
お申込者(フリガナ)	勤務先	ご所属	
様	様		
ご住所 <input style="width: 100px;" type="text"/> - <input style="width: 100px;" type="text"/>			
TEL( <input style="width: 40px;" type="text"/> )-( <input style="width: 40px;" type="text"/> )-( <input style="width: 40px;" type="text"/> ) E-mail			受講料
*特別受講料の方は必ずご記入下さい			円
<input type="checkbox"/> 早期申込み <input type="checkbox"/> 前回受講者			技術交流会
<input type="checkbox"/> 月刊EMC読者No( <input style="width: 100px;" type="text"/> ) <input type="checkbox"/> 講演者紹介(ご講演者氏名			円
様)			合計
			円